

不確実性下における就職先決定

1250443 黒岩 小雪

指導教員 上村 浩

研究背景

これまで若者の就職先の決定基準において、「給与」や「自己成長」といった金銭的インセンティブに加え、「安定」、「ワーク・ライフ・バランスへの配慮」、「社風」といった非金銭的インセンティブの要素を重要視しされていることは明らかにされてきた。一方「将来に対する不安」を含めた研究は十分にされておらず、これを踏まえて本論文では、将来に対しての不安の度合いと就職先の決定要因との関係について検討する。

研究目的

本研究は、「将来に対する不安と就職先決定に影響を及ぼす要因との関係」を検討するとともに、今後の就職支援の課題解決について検討することを目的とする。

データ収集・分析方法

2025年11月に就職活動を控えた、あるいは既に就職活動を経験した大学3、4年生合計47名を対象にアンケート調査を実施し、アンケート結果については統計的に分析した。

分析結果

本研究における分析の結果、それぞれの学生が有する将来に対する不安の高さは、「自己成長」「会社の規模」と負の相関を有することが示された。そのほかの変数については、統計的に優位な相関は見られなかった。

考察・結論

ここで本研究の結果を踏まえると、第一に将来に対する不安が高い場合、長期的な視点ではなく短期的な視点から職場を評価する可能性が高くなるということである。第二に将来に対する不安は「現状における状態」が将来大きく変動する可能性を認識している。以上の結果から、将来に対する不安の大きさが就職先決定に影響することを示唆しており、今後の企業の採用活動として、対象となる学生が有する将来に対する不安の大きさを理解し、これによって学生に対するアプローチ内容を変化させる必要がある。